

2021年2月12日

各ロータリークラブ
補助金プロジェクト担当者様

国際ロータリーのロータリー財団委員会
2020-21年度補助金プロジェクト小委員会 委員長 浅野肇

コロナ禍における地区補助金事業の指針について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
貴クラブで行動されている奉仕事業に対する、地区補助金の申請に感謝いたします。
コロナ禍の渦中にある中での地区補助金事業の指針についてご説明します。
本件に対するご質問はメールで当委員会までお寄せ下さい。

敬具

記

(1) 事業・報告書提出の延長について

コロナ禍による、プロジェクトの延期についてご説明します。本来のプロジェクト実施時期は3月末、報告書提出期日は4月末ですが、この期日に変更はありません。ただし、プロジェクト実施時期と、報告書提出期日を事前に財団委員会に連絡し、必ずその期日までに実行する場合、若干の延長を認めます。ケースバイケースでの対応になりますので、プロジェクトの延期を考えているクラブは財団委員会、補助金プロジェクト小委員会までご連絡下さい。

(2) 事業の次年度へのスライドについて

コロナ禍による、プロジェクトの次年度のスライド開催についてご説明します。プロジェクトの次年度のスライド開催は当地区では認めておらず、一旦今年度の事業の中止を決定し、補助金の返還をした上で、次年度に同様の内容で補助金の申請をして下さい。ただし、コロナの収束状況によっては本年に中止した事業が、来年に同一内容で開催できる保証は無いので、必ずコロナ禍が減退しなくても、実行が可能である内容に修正しての申請をお願いします。なお、プロジェクトの中止、延期を行っても、ペナルティ等はありません。

(3) 海外の事業に対する効果測定について

国際奉仕事業につきましては、海外渡航の制限があり、現地での効果測定が困難です。
つきまして本年度に限り、十分な効果測定の資料（写真等）の提出を以って、現地での効果測定の代わりとします。

(4) 事業変更、中止に伴う返金について

コロナの影響による事業の縮小、中止に伴う、予算縮小の場合の措置についてご説明します。
本年度、事業に使用する予算は以下の3種類があります。

(1) TRF からの地区補助金

(2) 地区からの補填金

(3) 自クラブからの拠出金

(A) 予算縮小の場合

(1) + (2) の金額が、(3) の金額と同額以下になるように使用し、(1) + (2) の残金は当委員会に返還をお願いします。

(B) 中止の場合

(1) (2) は当委員会に返還して下さい。(3) は貴クラブの判断にお任せします。報告書の提出も忘れずをお願いします。

・連絡先

RID2790 (千葉県) 国際ロータリーのロータリー財団委員会

2020-21 年度 補助金プロジェクト小委員会

委員長 浅野 肇 (柏西ロータリークラブ)

E-Mail:2790dgrants@gmail.com